

ソクラテスミーティング最終のクラスには、インターンシップの受入先から 4 事業所 が来てくださいました。終わった後、講師からは「想いが伝わったかどうか心配ですが、皆、前のめりになって聴いてくれた。」「今はよく分からなくてもいつか自分のメッセージを思い出してもらえると良いな。」「こんな機会滅多にないのだから、気負わず、もっと質問しないともったいない。」などと感想をいただきました。高校生活で教員、バイト先以外の大人に出会えるチャンスはそう多くありません！この機会がインターンシップにつながりますように！

◆受入事業所：青年海外協力協会、明範荘特別養護老人ホーム、NPO 法人 Mother Kitchen、医療法人育徳会



**青年海外協力隊**としてパラグアイでの活動を話してくださった JOCA の奥田さん。鈴木君はパラグアイの食文化に興味を持ち、何度も質問。発表してくれた安田君はチャイムが鳴っても奥田さんに質問するなど積極的。日本とは異なる文化に興味深々で前のめりなのが印象的でした。

**明範荘**・副施設長の矢留さんは、もともと介護に興味があったわけではないものの、仕事をしてからその面白味を発見。それを受けて深味君は「興味が無い分野にチャレンジすることで自分の可能性が広がることを教えてもらった」と発表。



**今年からインターンシップの受入先**となる医療法人育徳会からは、磯村歯科医院の磯村院長が来てくださいました。大橋君は「今からでもなりたい自分を書き出しておこうと思った」と発表。聴く姿勢が素晴らしい中島君は「黄金律とWINWIN の関係が大事」と即座に発表。エネルギーな磯村院長に圧倒されないパワーを生徒も発揮していました。



**マザーキッチン**理事の石山さんは生徒に「私のことを全部知ってる！と言えるぐらいまで質問してみてください」と楽しそう。岳川さんは「弁当の栄養バランスはどのように考えている？」栗山さんは「いつその仕事をやろうと思った？」山中さんは「無いものから仕事を生み出すことに驚いた」と会話が弾んでいました。



**社会**に興味を持って欲しいと話すシンプルアシスト代表の小野さん。林君は「ムードメーカーになって場の空気を和ませることが、コミュニケーションで大切。」と発表。村田君は中学時代にも言われたが「言葉のキャッチボールが大切」と発表。社会ってまだまだ知らないことがある、だから楽しい！そう思ってもらいたいです。



## 探究基礎の流れ

キックオフミーティング

コミュニケーション講座

★ソクラテスミーティング

感想交流

インターンシップ希望調査

エントリーシート

マナー講座

インターンシップ

お礼状作成

**海部南部消防組合**からは、黎明の柔道部とも関係がある山森さんがソクラテスに。栗山さんは弥富柔道会とのつながりあることが分かりビックリ！そんな山森さんが消防士になったのはレスキューの番組がきっかけ。消防士になりたい生徒にとって現場を知る良い機会に。